

「十三」

令和8年度 第2号

結 (むすぶ)

校長 堀田 俊宏

日差しが一段と強まり、本格的な夏の訪れを感じる季節となりました。保護者、地域の皆様には日頃より本校の教育活動に深いご理解と温かいご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

本校の生徒会のテーマは「結」です。これは、「一人一人のつながりを大切にし、明るく活気あふれる学校をつくる」という願いが込められています。

7月16日(木)には生徒会執行部が企画した「十三フェスティバル」が行われました。生徒同士の団結力を高めるために企画したイベントです。学年の枠を超えた縦割りチームに分かれ、イントロクイズ、バスケットボールで競い合い、最後に運動会のテーマを決める話し合い活動を行いました。参加した生徒の感想から「チームの仲間から応援してもらい、うれしかった。」「バスケットボールでは、みんなでパスをつないでゴールできて楽しかった。」という声が聞かれました。生徒会のテーマに向けて企画・運営し、目標達成に向けて試行錯誤しながら取り組んだ執行部の生徒に頼もしさを感じました。

このほかにも1学期に取り組んだ生徒会活動は下記の通りです。

委員会名	主な取組	ねらい
執行部	十三の日(あいさつ運動、アルミ缶回収)	人と人との心を結ぶ
生活規律委員会	ネットルールづくり、あいさつ運動	自分や周りの人たちの心や体を守る 環境を整え、みんなが気持ちよく過ごすることができる
保健・給食委員会	歯磨きチェック、メディアコントロール運動	
美化委員会	花壇づくり、クリーン・ザ・十三	
文化・図書委員会	おすすめの本紹介、購入本のリクエスト	
広報・放送委員会	給食時の放送、音楽アンケート	

いずれの活動も、自分も周りの人たちも大切にし、学校をよりよくしようとする共通の目標へ向けて一丸となって参加する生徒の姿が見られました。

本校は今年度、人権教育推進校としての指定を受け、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めようとする心と態度を育てることを重点に置き、人権教育を推進しています。今後も、生徒の主体性を大切にしながら、教職員と生徒が一丸となって教育活動を進めてまいります。そして、これらの取組が生徒一人一人の学びとなって結実し、本校の学校目標である「心豊かでたくましい生徒の育成」に繋がっていきたいと考えています。

今後も、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

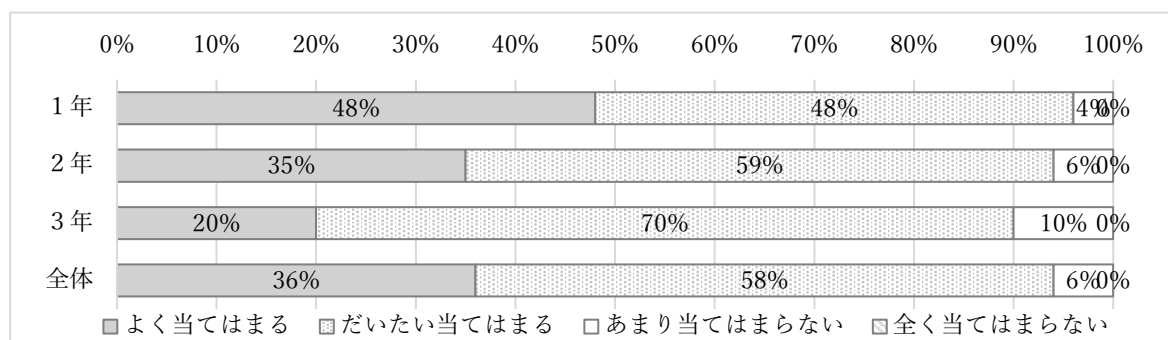
◆◆◆ 学校評価の結果について ◆◆◆

本年度の重点目標「自分で考えて行動し、互いに学び合い、高め合う生徒の育成」を達成するために、次の2つのアクションプランを立てて取り組んできました。生徒のアンケート(6月下旬実施)の結果をお知らせします。

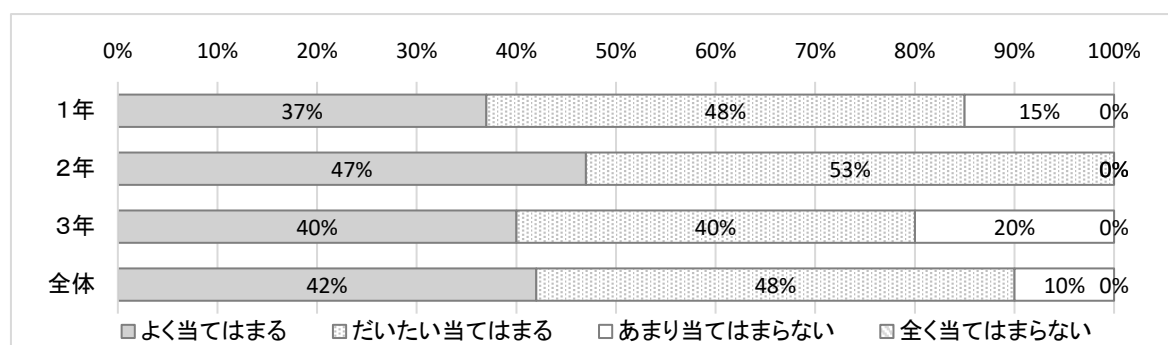
【学校評価アンケート（生徒）の結果】

アクションプラン1 主体的に学習に取り組む生徒の育成

1. 授業で「分かる」「できる」と実感できている。



2. 授業で、友達の意見を聞いたり、自分の考えを友達に伝えたりすることで、自分の考えを深めることができた。

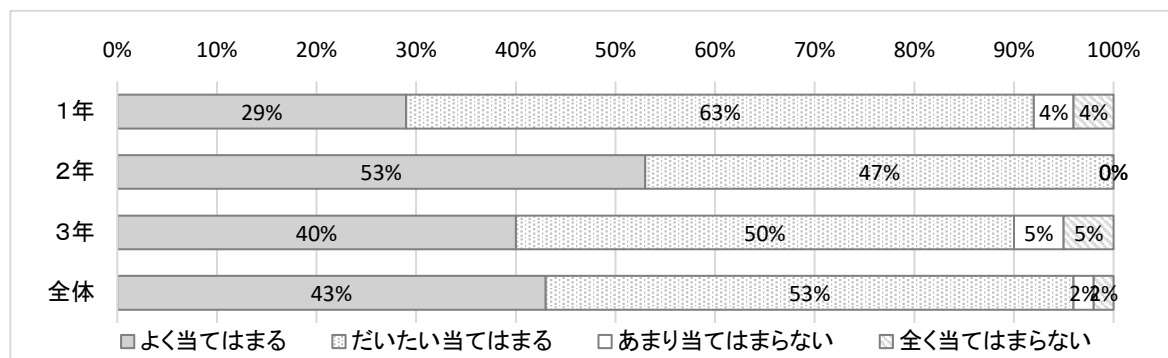


授業では、各教科で基礎・基本の確実な定着を図るとともに、考えを交流する場を設けたり、学び合いを促す手立てを工夫したりしながら、生徒一人一人の深い学びの実現をできるよう授業づくりに取り組んできました。今回のアンケートから、「1. 授業で「わかる」「できる」と実感できている」に、「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と答えた生徒は、どの学年も90%を超えている一方、「2. 授業で、友達の意見を聞いたり、自分の考えを友達に伝えたりすることで、自分の考えを深めることができた」に、「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と答えた生徒は、80%は超えているものの「あまり当てはまらない」が20%を超えている学年もあります。今後は、より一層意見の交換の場を充実させ、様々な意見に触れる場の設定を工夫していきたいと考えています。

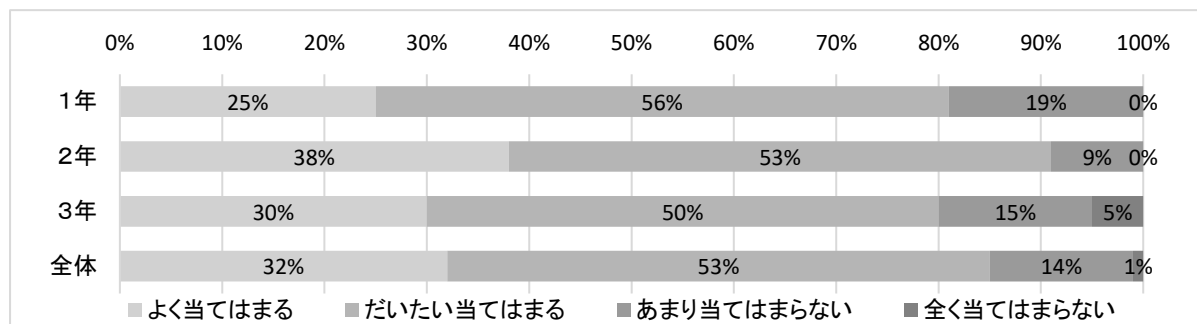
生徒の感想より（1学期の学習を通して、できるようになったこと、興味をもったこと）

- [1年] 英語など語学について興味をもった。宿題が増えたけど、しっかり取り組めるようになってきた。
理科では、マッチの火をつけることができた。
毎日の授業で楽しいと思うときが増えた。
- [2年] 分からない問題が友達とやってできるようになった。
英語で未来のことについて話せるようになった。
数学の授業で説明が増え、分かりやすく説明しようと考えることができた。
- [3年] 理科のクローンの話が気になった。実際に行なわれているのか興味ある。
国語の俳句では、自分で考えることができるのが面白かった。
数学が難しかったけれど、何回も解き直して解けるようになった。

3. 学校の諸活動（学校行事、生徒会、学級活動）において、自分が友だちや集団のためにできることを考え、進んで実践することができた。



4. 自分と他者との違いやよさについて自分なりに理解し、そのよさを積極的に相手に伝えることができた。

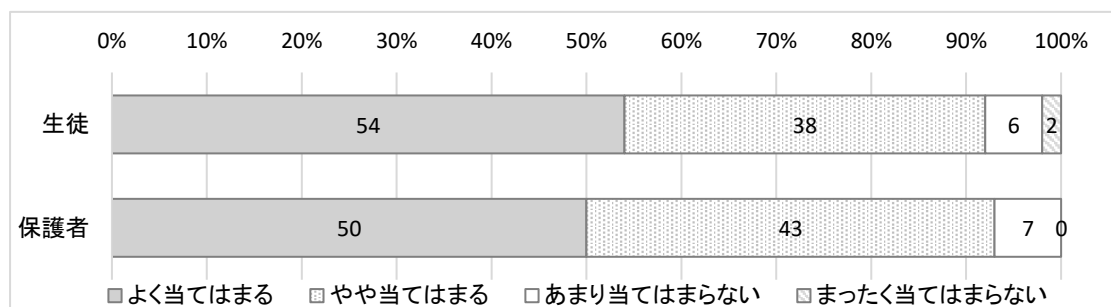


生徒同士の関わり合いの中から、共に高め合う集団づくりを目指してきました。1学期は、市音楽会、生徒会、学級活動等で、友達や集団のために自分ができることや役に立てることを意識して活動する生徒の様子がたくさん見受けられました。「3. 学校の諸活動（学校行事、生徒会、学級活動）において、自分が友だちや集団のためにできることを考え、進んで実践することができた」に「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と答えている生徒がどの学年も90%を超えていることから、そのことが伺えます。しかし「4. 自分と他者との違いやよさについて自分なりに理解し、そのよさを積極的に相手に伝えることができた」に「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と答えている生徒は、80%は超えているものの3と比較して少なくなっています。2学期は運動会、文化活動発表会等大きな学校行事が予定されています。行事を節目として、生徒一人一人の輝ける場を設け、一人一人の頑張りやよさを見付けあい、一人一人の存在感が味わえるようにしていきたいと考えます。そして、自分のよさを仲間や大人に認められることで自覚し、自分自身を大切にできるようにしていきたいと考えています。

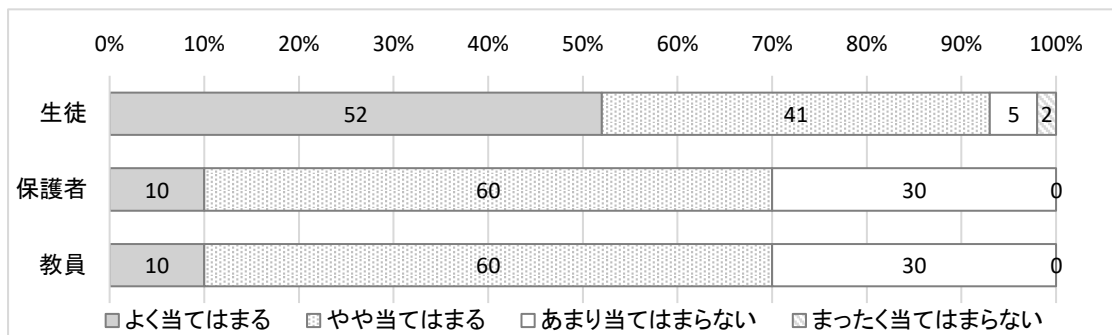
【その他の学校評価アンケート（保護者、生徒、教師）の結果】

5. 生徒 学校に行くことは楽しいと思う。

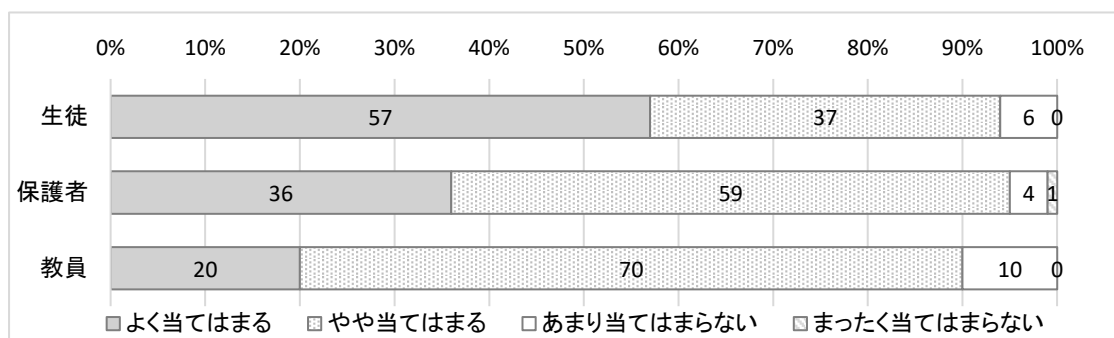
保護者 お子さんは毎日楽しく学校に行っている。



6. 生徒 自分から相手に気持ちが伝わるさわやかな挨拶をしている。
 保護者 お子さんは、自分から相手に伝わるさわやかな挨拶をしている。
 教員 生徒は、自分から相手に伝わる挨拶をしている。



7. 生徒 清掃活動に積極的に取り組んでいる。
 保護者 お子さんは、家で掃除や手伝いをしている。
 教員 生徒は、清掃活動に積極的に取り組んでいる。



「6. 自分から相手に伝わるさわやかな挨拶をしている」について、生徒の90%以上は、「よく当てはまる」「やや当てはまる」と答えていますが、保護者と教員は70%になっています。生徒と保護者、教員の挨拶に対する認識のずれ（相手に伝わる声の大きさになっているか、相手を見て挨拶しているかなど）があると考えられます。

1学期のアンケート結果をもとに、2学期も学校教育目標の達成にむけて、学校一丸となって教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。